

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国経済：最近の住宅価格の動き ～3月は大都市を中心に上昇、史上最高値を更新中

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

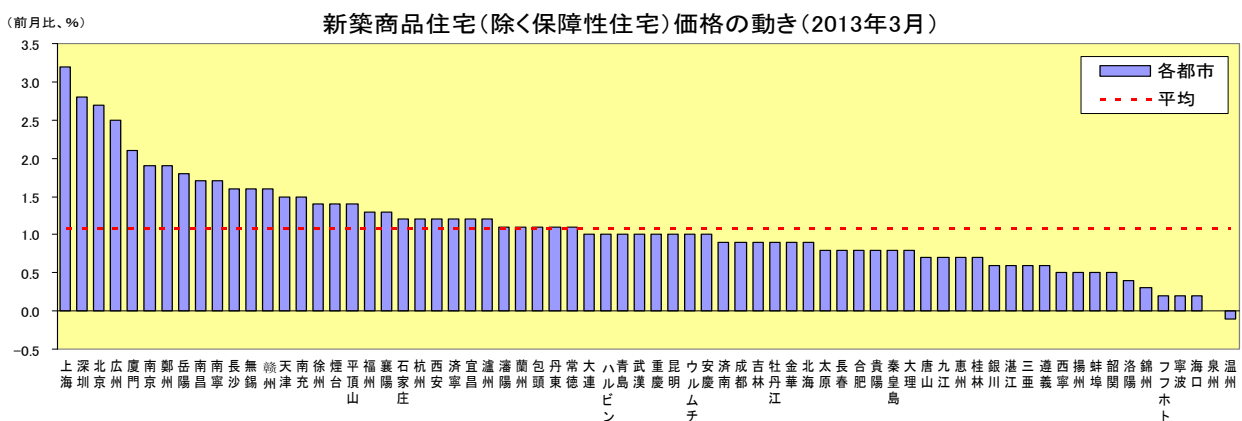
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 中国国家统计局が4月18日に発表した全国70都市の住宅価格の動きを見ると、北京市と広州市（広東省）では新築商品住宅（除く保障性住宅）の価格が前年同月比11.2%の上昇となり、今年の名目成長率（見込み）を上回るような勢いとなってきた。
- また、住宅価格の推移を振り返ると、昨年5月をボトムに緩やかに上昇し始めた住宅価格は、今年1月には過去最高値（2011年6月）を上回り、3月も史上最高値を更新している。中国では住宅バブル懸念は再び高まっており、今後の不動産規制の行方が注目される。

### [ 70都市の動向 ]

中国国家统计局は、4月18日に2013年3月の70大中都市住宅販売価格変動状況を発表した。新築商品住宅（除く保障性住宅）価格の動きを見ると、前月と比べて最も大きく上昇したのは上海市で前月比3.2%、第2位が深圳市（広東省）で同2.8%、第3位が北京市で同2.7%と、沿海部に位置する大都市の価格上昇が目立った。他方、下落したのは温州市（浙江省）だけとなった（図表-1）。

(図表-1)



また、1年前と比べて見ると、最も上昇率が高かったのは北京市と広州市（広東省）で前年同月比11.2%、第3位は深圳市（広東省）で同9.1%だった。これらの都市の上昇率は今年の名目成長率（見込み）を上回るような勢いである。他方、下落した2都市（温州市、寧波市）はいずれも浙江省の都市で、温州市が前年同月比9.8%の下落、寧波市が同3.5%の下落となった（図表-2）。

